



2026年4月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年6月12日

上場会社名 NE株式会社 上場取引所 東
 コード番号 441A URL https://ne-inc.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 比護 則良
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 富山 幸弘 (TEL) 03-4540-6512
 定時株主総会開催予定日 2026年7月24日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2026年7月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (2026年6月15日に機関投資家・アナリスト向けに開催予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年4月期の業績 (2025年5月1日～2026年4月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年4月期 | 4,068 | 3.6 | 1,461 | △3.7 | 1,444 | △5.3 | 1,008 | 7.3 |
| 2025年4月期 | 3,925 | 4.2 | 1,517 | △0.9 | 1,524 | △4.0 | 940 | △9.0 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2026年4月期 | 31.03 | 30.55 | 24.9 | 30.8 | 35.9 |
| 2025年4月期 | 29.38 | — | 29.4 | 38.5 | 38.7 |

(参考) 持分法投資損益 2026年4月期 ー百万円 2025年4月期 ー百万円

- (注) 1. 当社は、2025年11月4日に東京証券取引所グロース市場に上場しております。2026年4月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から当事業年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
2. 当社は、2025年11月4日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2025年4月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
3. 2025年9月1日付で普通株式1株につき4,000,250,25株の割合で、また2026年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2026年4月期 | 5,149 | 4,598 | 89.3 | 139.06 |
| 2025年4月期 | 4,224 | 3,517 | 83.3 | 109.92 |

(参考) 自己資本 2026年4月期 4,598 百万円 2025年4月期 3,517百万円

- (注) 2025年9月1日付で普通株式1株につき4,000,250,25株の割合で、また2026年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2026年4月期 | 1,175 | △188 | 48 | 3,632 |
| 2025年4月期 | 1,025 | △420 | △310 | 2,596 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 | 純資産 配当率 |
|------------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2025年4月期 | — | 0.00 | — | 70.00 | 70.00 | 280 | 29.8 | 8.7 |
| 2026年4月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2027年4月期 (予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |

- (注) 2025年9月1日付で普通株式1株につき4,000,250,25株の割合で、また2026年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年4月期の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2027年4月期の業績予想（2026年5月1日～2027年4月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 1,989 | 0.1 | 336 | △53.4 | 336 | △52.9 | 394 | △19.6 | 11.92 |
| 通期 | 4,630 | 13.8 | 1,190 | △18.6 | 1,190 | △17.6 | 1,011 | 0.3 | 30.59 |

（注）2026年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割を考慮しております。

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（2）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2026年4月期 | 33,064,002株 | 2025年4月期 | 32,002,002株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年4月期 | 110株 | 2025年4月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2026年4月期 | 32,496,867株 | 2025年4月期 | 32,002,002株 |

（注）2025年9月1日付で普通株式1株につき4.00025025株の割合で、また2026年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」及び「期末自己株式数」並びに「期中平均株式数」を算定しています。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 4 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 3. 財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 貸借対照表 | 6 |
| (2) 損益計算書 | 8 |
| 売上原価明細書 | 9 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 11 |
| (4) キャッシュ・フロー計算書 | 12 |
| (5) 財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (貸借対照表関係) | 13 |
| (セグメント情報等) | 14 |
| (持分法損益等) | 17 |
| (1株当たり情報) | 18 |
| (重要な後発事象) | 19 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善のもと、個人消費の持ち直しの動きがみられた一方で、世界的な金融引き締めの影響、地政学的リスクの高まり、米国の政策運営及び通商・外交方針を巡る不確実性の高まり等により、我が国経済を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。このような状況の中で消費者の慎重な姿勢や、人手不足に伴う人件費の上昇などが国内企業の運営における課題として認識されております。

当社が属するEC市場環境については、2025年8月26日に経済産業省が公表した「令和6年度デジタル取引環境整備事業（電子商取引に関する市場調査）」によると、2024年の日本国内のBtoC-E C（消費者向け電子商取引）市場規模は26.1兆円と、前年の24.8兆円から5.1%増に拡大するなど、引き続き成長が続いており、当社のセグメントごとの経営成績は次のとおりとなりました。

① ネクストエンジン事業

地政学リスクと円安の進行に伴うエネルギー価格の上昇等を背景にした食料品や生活必需品をはじめとする消費財の物価高騰の影響を受け、家計における消費行動の変容が認められたことから、例年は主要なECモールの年末セールを背景にして活況となる11月から12月にかけて、ネクストエンジンの売上構成における主要な指標であるARPU（注）の伸びが想定を下回りました。一方で、顧客ごとの個別課題に対応するための受託開発サービス「ネクストエンジン・オーダーメイド」案件の着実な獲得により、当事業年度の年間平均ARPUは前年同期比2.8%増（特殊要因除く）の39,061円と、着実に成長いたしました。

契約社数について、ネクストエンジンが連携している外部の出荷システムのサービス停止の影響を受け、一時的に解約が増加したタイミングがあったものの、契約獲得ペース自体はほぼ計画通りに推移したこともあり、総契約社数は6,764社（前事業年度末比194社増）となりました。

以上の結果、ネクストエンジン事業の売上高は3,145,487千円（前事業年度比5.9%増）、セグメント利益は2,059,297千円（同6.7%増）となりました。

（注）ARPU（Average Revenue Per User）とは、1ユーザーあたりの平均売り上げを示す指標を意味します。

② コンサルティング事業

コンサルタントのリソース確保という経営課題に対し、前期において案件ごとの採算管理とコンサルタントの稼働率向上、コスト見直し等、収益性を重視した取り組みに注力して収益力の向上を実現することが出来たため、今期については外部リソースを活用し売上拡大を目指す方針としておりましたが、外部リソースに起因する課題等から、新規契約獲得については期初の想定を下回って推移いたしました。当該課題を認識したことから方針を転換し、既存契約先に対する付加価値向上によるアップセル施策の取り組みと、新商材である生成AIオンライン動画講座の販売に注力した結果、生成AIオンライン動画講座の販売が計画を大幅に上回ることができました。

以上の結果、コンサルティング事業の売上高は547,538千円（前事業年度比46.9%増）、セグメント利益は80,520千円（同4.3%増）となりました。

③ ロカルコ事業

前期において契約自治体の解約が複数発生し、収入のベースが減少いたしました。契約自治体に対する自社リソースの関与頻度が向上することで、各種の施策（WEB広告施策、返礼品開発協力、返礼品ページの最適化等）の効果が顕在化し、第2四半期まで、契約を継続する自治体においては前年同期の実績を超える寄附額の増加がみられました。しかしながら、10月の制度変更に伴う各種ふるさと納税ポータルサイトのポイント廃止を前に、9月に駆け込み需要が発生したことにより、本来最盛期となるはずの12月について、例年に比べて寄附額が伸び悩むなど、外部要因の影響がありましたが、通期では計画通りの実績となりました。

伝統工芸品のEC販売事業については、ECモールでの認知拡大施策や、東京都内及び神奈川県内の商業施設でのPOP UP STOREの展開等の施策を実施することで売上の拡大に努めましたが、卸販売先の拡大を見込んだ期初計画に対して79.2%の達成率となりました。

以上の結果、ロカルコ事業の売上高は375,373千円（前事業年度比35.4%減）、セグメント利益は16,509千円の損失（前事業年度は246,586千円の利益）となり、期初計画に対して損失額が3,285千円超過いたしました。

④ その他

その他には、新規事業開発の一環として2024年4月期にβリリースをした、メーカーと小売店を繋ぐ新たな卸売マーケットプレイス「encer mall (エンサーモール)」が含まれております。第1四半期においてβ版のサービス提供を停止しており、主に研究開発に係る費用を計上しております。

その他の売上高は31千円(前事業年度比93.0%減)、セグメント利益は16,729千円の損失(前事業年度は166,922千円の損失)となりました。

これらの結果、当事業年度の売上高は4,068,430千円(前事業年度比3.6%増)、営業利益は1,461,233千円(同3.7%減)、経常利益は1,444,435千円(同5.3%減)、当期純利益は1,008,426千円(同7.3%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 流動資産

当事業年度末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べ990,561千円増加し、4,549,154千円(前事業年度末比27.8%増)となりました。これは主に、売上高の増加や、上場時の募集株式の発行等により現金及び預金が1,035,965千円増加したこと、売掛金が37,540千円増加したこと、商品が12,776千円増加したこと等の増加要因と、立替金が113,345千円減少したこと等の結果によるものであります。

② 固定資産

当事業年度末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べ65,048千円減少し、600,758千円(同9.8%減)となりました。これは主に、投資その他の資産のうち、その他が32,730千円増加した一方で、無形固定資産が18,456千円減少したこと、encer mall (エンサーモール)のサービス停止に伴う無形固定資産除却等の影響により繰延税金資産が82,268千円減少したこと等の結果によるものであります。

③ 流動負債

当事業年度末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べ155,628千円減少し、513,180千円(同23.3%減)となりました。これは主に、未払金が21,885千円、未払法人税等が107,925千円、その他が26,582千円減少したこと等の結果によるものであります。

④ 固定負債

当事業年度末における固定負債の残高は、前事業年度末に比べ843千円増加し、38,729千円(同2.2%増)となりました。これは資産除去債務の増加によるものであります。

⑤ 純資産

当事業年度末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ1,080,297千円増加し、4,598,002千円(同30.7%増)となりました。これは、剰余金の配当280,000千円があった一方で、上場時の株式募集に伴い資本金が175,956千円、資本準備金が175,956千円増加したこと及び当期純利益1,008,426千円を計上したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ1,035,964千円増加し、3,632,472千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,175,633千円(前事業年度は1,025,879千円の収入)でありました。これは主に、税引前当期純利益1,444,435千円、減価償却費168,173千円、立替金の減少113,344千円等の収入要因に対し、法人税等の支払い495,086千円、売上債権の増加37,539千円等の支出要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は188,200千円(前事業年度は420,515千円の支出)でありました。これは主に、本社設備の増強に伴う有形固定資産の取得による支出40,463千円、ネクストエンジンの機能開発等ソフトウェアの取得による支出113,757千円、敷金の差し入れによる33,980千円の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は48,531千円(前事業年度は310,000千円の支出)でありました。これは、配当金の支払い280,000千円、上場関連費用の支出23,338千円の支出要因があった一方で、新規上場時の株式の発行による収入351,913千円があったこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社を取り巻く経済環境や直近の経営状態及び経営方針を踏まえ、以下の前提事項に基づいて各事業ごとに今後の見通しを見積もっております。

① ネクストエンジン事業

E C業界への新規参入は引き続き活発であり、規模の小さい事業者を含めE C事業者の数は増加傾向にあると認識しております。このような背景もあり、2023年6月にネクストエンジンの月額基本利用料を引き下げて以降、比較的小規模なE C事業者様の契約が増加していることから、最も重視すべき指標を総契約社数からARPUへシフトいたしました。

当該方針に則り、ネクストエンジンのエンハンスによる顧客利便性の向上と、それに伴う受注処理件数の向上、顧客ニーズに対する柔軟なカスタマイズ対応の一環として提供しているネクストエンジンオーダーメイド(受託開発サービス)の拡大等のARPU向上施策に注力してまいります。

引き続きE C市場については成長が見込まれることから、上記の施策を着実に展開することによって2027年4月期の売上高は3,824百万円(前年同期比21.6%増)を見込んでおります。

② コンサルティング事業

コンサルタントのリソース確保という経営課題に対し、案件ごとの採算管理とコンサルタントの稼働率向上、コスト見直し等の取り組みに注力した結果向上した収益性を維持することを基本方針とする一方で、前期より新たな取り組みとして開始した、顧客であるE C事業者の自走による事業成長を実現するための教育商材の販売に引き続き注力してまいります。

これらの施策を着実に展開することによって2027年4月期の売上高は569百万円(同4.1%増)を見込んでおります。

③ ロカルコ事業

2026年6月12日公表の「ふるさと納税支援事業の事業譲渡に関するお知らせ」に記載のとおり、当社はロカルコ事業のうち、ふるさと納税支援事業について事業譲渡することを決議いたしました。そのため、当該事業については2026年8月1日以降、業績予想には織り込んでおりません。また、当該事業の譲渡益として、特別利益220百万円を業績予想に加味しております。

伝統工芸品のEC販売事業（リテール事業）については、商品開発の強化、品揃えの充実化、酒類をはじめとする食品類へのカテゴリーを拡充すると並行して、インバウンド需要を取り込むための卸販売等、販路の拡張に取り組むことにより、2027年4月期の売上高213百万円（同126.8%増）※を見込んでおります。

※ふるさと納税支援事業を除くリテール事業のみの計画値。

④ その他

サイバーセキュリティ対策の一環としてのシステム投資や、信頼性を担保するためのISMS認証取得等、ECインフラとして信頼性を担保するための各種投資を実施するほか、新規事業開発等成長投資を積極化する方針としております。

これらにより、2027年4月期の業績予想として、売上高は4,630百万円（前年同期比13.8%増）、営業利益は1,190百万円（同18.6%減）、経常利益は1,190百万円（同17.6%減）、当期純利益は1,011百万円（同0.3%増）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2025年4月30日) | 当事業年度 (2026年4月30日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,596,507 | 3,632,472 |
| 売掛金 | 622,432 | 659,972 |
| 商品 | 17,710 | 30,486 |
| 仕掛品 | 147 | 205 |
| 原材料及び貯蔵品 | 804 | 9,749 |
| 立替金 | 197,729 | 84,384 |
| 前渡金 | - | 42 |
| 前払費用 | 93,652 | 97,475 |
| その他 | 35,982 | 40,306 |
| 貸倒引当金 | △6,373 | △5,940 |
| 流動資産合計 | 3,558,593 | 4,549,154 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物附属設備 | 177,879 | 181,832 |
| 減価償却累計額 | △3,059 | △12,110 |
| 建物附属設備(純額) | 174,819 | 169,722 |
| 工具、器具及び備品 | 106,238 | 143,519 |
| 減価償却累計額 | △26,628 | △55,856 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 79,610 | 87,662 |
| 有形固定資産合計 | 254,430 | 257,385 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 203,474 | 175,002 |
| その他 | - | 10,015 |
| 無形固定資産合計 | 203,474 | 185,018 |
| 投資その他の資産 | | |
| 長期前払費用 | 17 | 8 |
| 繰延税金資産 | 147,388 | 65,120 |
| その他 | 60,495 | 93,225 |
| 投資その他の資産合計 | 207,901 | 158,354 |
| 固定資産合計 | 665,806 | 600,758 |
| 資産合計 | 4,224,399 | 5,149,912 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2025年4月30日) | 当事業年度 (2026年4月30日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 5,233 | 4,363 |
| 未払金 | 233,759 | 211,874 |
| 未払費用 | 95,852 | 98,665 |
| 未払法人税等 | 240,986 | 133,061 |
| 前受金 | 3,039 | 2,845 |
| 預り金 | 11,945 | 10,960 |
| その他 | 77,991 | 51,409 |
| 流動負債合計 | 668,808 | 513,180 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 37,886 | 38,729 |
| 固定負債合計 | 37,886 | 38,729 |
| 負債合計 | 706,694 | 551,910 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100,000 | 275,956 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 1,378,763 | 1,554,720 |
| 資本剰余金合計 | 1,378,763 | 1,554,720 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 2,038,941 | 2,767,368 |
| 利益剰余金合計 | 2,038,941 | 2,767,368 |
| 自己株式 | - | △42 |
| 株主資本合計 | 3,517,705 | 4,598,002 |
| 純資産合計 | 3,517,705 | 4,598,002 |
| 負債純資産合計 | 4,224,399 | 5,149,912 |

(2) 損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日) | 当事業年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 3,925,256 | 4,068,430 |
| 売上原価 | 1,124,215 | 1,108,231 |
| 売上総利益 | 2,801,040 | 2,960,198 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,283,477 | 1,498,964 |
| 営業利益 | 1,517,563 | 1,461,233 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,231 | 5,878 |
| 補償損失引当金戻入益 | 1,680 | - |
| その他 | 4,351 | 1,095 |
| 営業外収益合計 | 7,263 | 6,974 |
| 営業外費用 | | |
| 上場関連費用 | - | 23,338 |
| その他 | 196 | 433 |
| 営業外費用合計 | 196 | 23,772 |
| 経常利益 | 1,524,630 | 1,444,435 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 642 | - |
| 特別利益合計 | 642 | - |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 44,752 | - |
| 固定資産除却損 | 7,333 | - |
| 特別損失合計 | 52,086 | - |
| 税引前当期純利益 | 1,473,187 | 1,444,435 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 523,578 | 353,740 |
| 法人税等調整額 | 9,500 | 82,268 |
| 法人税等合計 | 533,078 | 436,008 |
| 当期純利益 | 940,109 | 1,008,426 |

売上原価明細書

| 区分 | 注記 番号 | 前事業年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日) | | 当事業年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日) | |
|----------|----------|--|------------|--|------------|
| | | 金額(千円) | 構成比 (%) | 金額(千円) | 構成比 (%) |
| I 労務費 | | 364,353 | 30.3 | 316,344 | 27.6 |
| II 経費 | ※1 | 840,063 | 69.7 | 831,794 | 72.4 |
| 当期総製造費用 | | 1,204,416 | 100.0 | 1,148,138 | 100.0 |
| 期首仕掛品棚卸高 | | 191 | | 147 | |
| 合計 | | 1,204,608 | | 1,148,286 | |
| 期末仕掛品棚卸高 | | 147 | | 205 | |
| 他勘定振替高 | ※2 | 112,296 | | 99,188 | |
| 当期製品製造原価 | | 1,092,164 | | 1,048,892 | |
| 期首商品棚卸高 | | 10,716 | | 19,247 | |
| 当期商品仕入高 | | 39,581 | | 73,744 | |
| 合計 | | 50,298 | | 92,991 | |
| 期末商品棚卸高 | | 19,247 | | 32,862 | |
| 他勘定振替高 | ※3 | 536 | | 1,630 | |
| 商品評価損 | | 1,536 | | 839 | |
| 商品売上原価 | | 32,051 | | 59,339 | |
| 当期売上原価 | | 1,124,215 | | 1,108,231 | |

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

| 項目 | 前事業年度(千円) | 当事業年度(千円) |
|----------|-----------|-----------|
| 外注費 | 454,720 | 466,699 |
| サーバー費 | 243,465 | 230,311 |
| ソフトウェア償却 | 138,138 | 126,216 |

※2 他勘定振替高の内容は、次のとおりであります。

| 項目 | 前事業年度(千円) | 当事業年度(千円) |
|-----------|-----------|-----------|
| ソフトウェア | 112,296 | 71,100 |
| ソフトウェア仮勘定 | — | 28,009 |
| 研究開発費 | — | 77 |
| 計 | 112,296 | 99,188 |

※3 他勘定振替高の内容は、次のとおりであります。

| 項目 | 前事業年度(千円) | 当事業年度(千円) |
|-------|-----------|-----------|
| 未収入金 | 445 | — |
| 販売促進費 | 18 | 1,492 |
| 雑損失 | 72 | — |
| 会議費 | — | 52 |
| 交際費 | — | 84 |
| 計 | 536 | 1,630 |

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | | 純資産合計 | |
|---------|---------|-----------|-----------|---------------------|-----------|------|-----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | 自己株式 | | 株主資本合計 |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | | |
| 当期首残高 | 100,000 | 1,378,763 | 1,378,763 | 1,408,832 | 1,408,832 | — | 2,887,596 | 2,887,596 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 新株の発行 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △310,000 | △310,000 | | △310,000 | △310,000 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | |
| 当期純利益 | | | | 940,109 | 940,109 | | 940,109 | 940,109 |
| 当期変動額合計 | — | — | — | 630,109 | 630,109 | — | 630,109 | 630,109 |
| 当期末残高 | 100,000 | 1,378,763 | 1,378,763 | 2,038,941 | 2,038,941 | — | 3,517,705 | 3,517,705 |

当事業年度(自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | | 純資産合計 | |
|---------|---------|-----------|-----------|---------------------|-----------|------|-----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | 自己株式 | | 株主資本合計 |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | | |
| 当期首残高 | 100,000 | 1,378,763 | 1,378,763 | 2,038,941 | 2,038,941 | — | 3,517,705 | 3,517,705 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 新株の発行 | 175,956 | 175,956 | 175,956 | | | | 351,913 | 351,913 |
| 剰余金の配当 | | | | △280,000 | △280,000 | | △280,000 | △280,000 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △42 | △42 | △42 |
| 当期純利益 | | | | 1,008,426 | 1,008,426 | | 1,008,426 | 1,008,426 |
| 当期変動額合計 | 175,956 | 175,956 | 175,956 | 728,426 | 728,426 | △42 | 1,080,297 | 1,080,297 |
| 当期末残高 | 275,956 | 1,554,720 | 1,554,720 | 2,767,368 | 2,767,368 | △42 | 4,598,002 | 4,598,002 |

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日) | 当事業年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前当期純利益 | 1,473,187 | 1,444,435 |
| 減価償却費 | 184,686 | 168,173 |
| 敷金償却 | 4,312 | 1,250 |
| のれん償却額 | 4,512 | - |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △642 | - |
| 固定資産除却損 | 7,333 | - |
| 減損損失 | 44,752 | - |
| 受取利息 | △1,231 | △5,878 |
| 上場関連費用 | - | 23,338 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △668 | △433 |
| 補償損失引当金の増減額(△は減少) | △6,561 | - |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △18,263 | △37,539 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △6,184 | △21,778 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 2,298 | △869 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 4,055 | △26,568 |
| 未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少) | - | 33,420 |
| 立替金の増減額(△は増加) | 15,863 | 113,344 |
| 前払費用の増減額(△は増加) | △36,376 | △3,813 |
| 未収入金の増減額(△は増加) | 2,924 | - |
| 未払金の増減額(△は減少) | △47,335 | △22,654 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | 21,586 | 5,132 |
| その他 | 5,490 | △4,716 |
| 小計 | 1,653,741 | 1,664,841 |
| 受取利息及び受取配当金 | 1,231 | 5,878 |
| 法人税等の支払額 | △629,093 | △495,086 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,025,879 | 1,175,633 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △229,048 | △40,463 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △132,055 | △113,757 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 1,084 | - |
| 敷金の差入による支出 | △60,495 | △33,980 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △420,515 | △188,200 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 株式の発行による収入 | - | 351,913 |
| 上場関連費用の支出 | - | △23,338 |
| 自己株式の取得による支出 | - | △42 |
| 配当金の支払額 | △310,000 | △280,000 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △310,000 | 48,531 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 295,364 | 1,035,964 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,301,143 | 2,596,507 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,596,507 | 3,632,472 |

- (5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(貸借対照表関係)

当社は、運転資金を効率的に調達するため、取引銀行4行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく当座貸越契約に係る借入未実行残高は次のとおりであります。

| | 前事業年度 (2025年4月30日) | 当事業年度 (2026年4月30日) |
|---------|-----------------------|-----------------------|
| 当座貸越極度額 | 一千円 | 2,000,000千円 |
| 借入実行残高 | — | — |
| 差引額 | — | 2,000,000 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前事業年度(自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社は、本社に製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、当社は事業部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「ネクストエンジン事業」「コンサルティング事業」「ロカルコ事業」を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「ネクストエンジン事業」は、複数のEC店舗を一元管理し、受注・在庫・商品管理業務の自動化及び効率化を実現する、クラウド(SaaS)型ECバックエンドシステム「ネクストエンジン」を提供しております。

「コンサルティング事業」は、多くのデータやEC店舗運営ノウハウに基づくECコンサルティング及びEC店舗運営代行サービス等のECサイト支援サービスを提供しております。

「ロカルコ事業」は、全国の自治体向けに「ネクストエンジン」を活用した、ふるさと納税運営業務の支援サービスを提供しております。また、2024年4月に伝統工芸品のEC販売事業を事業譲受により取得しており、EC店舗の運営も行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益(のれん償却前)ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 調整額 | 合計 |
|------------------------|--------------------|--------------------|------------|-----------|--------------|-----------|-----------|
| | ネクスト エンジン 事業 | コンサル ティング 事業 | ロカルコ 事業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,970,489 | 372,848 | 581,475 | 3,924,813 | 443 | — | 3,925,256 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 2,970,489 | 372,848 | 581,475 | 3,924,813 | 443 | — | 3,925,256 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 1,930,587 | 77,226 | 246,586 | 2,254,400 | △166,922 | △569,915 | 1,517,563 |
| セグメント資産 | 767,211 | 48,210 | 261,245 | 1,076,667 | 224 | 3,147,508 | 4,224,399 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 131,230 | 1,819 | 7,383 | 140,433 | — | 44,252 | 184,686 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 110,623 | 4,049 | 10,963 | 125,636 | — | 274,723 | 400,359 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業開発の一環として前期にβリリースをした「encor mall (エンサーモール)」を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. 減価償却費の調整額44,252千円は本社固定資産に関する減価償却費であり、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額274,723千円は本社移転に伴って取得した固定資産の増加額であります。

当事業年度(自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社は、本社に製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、当社は事業部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「ネクストエンジン事業」「コンサルティング事業」「ロカルコ事業」を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「ネクストエンジン事業」は、複数のEC店舗を一元管理し、受注・在庫・商品管理業務の自動化及び効率化を実現する、クラウド(SaaS)型ECバックエンドシステム「ネクストエンジン」を提供しております。

「コンサルティング事業」は、多くのデータやEC店舗運営ノウハウに基づくECコンサルティング及びEC店舗運営代行サービス等のECサイト支援サービスを提供しております。また、2026年4月期より、新商材として生成AIオンライン動画講座の販売を行っております。

「ロカルコ事業」は、全国の自治体向けに「ネクストエンジン」を活用した、ふるさと納税運營業務の支援サービスを提供しております。また、2024年4月に伝統工芸品のEC販売事業を事業譲受により取得しており、EC店舗の運営も行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益(のれん償却前)ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報 (単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 調整額 | 合計 |
|------------------------|--------------------|--------------------|------------|-----------|--------------|-----------|-----------|
| | ネクスト エンジン 事業 | コンサル ティング 事業 | ロカルコ 事業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,145,487 | 547,538 | 375,373 | 4,068,399 | 31 | — | 4,068,430 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 3,145,487 | 547,538 | 375,373 | 4,068,399 | 31 | — | 4,068,430 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 2,059,297 | 80,520 | △16,509 | 2,123,308 | △16,729 | △645,345 | 1,461,233 |
| セグメント資産 | 799,292 | 42,272 | 152,911 | 994,475 | — | 4,155,437 | 5,149,912 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 118,202 | 3,438 | 8,253 | 129,894 | — | 38,278 | 168,173 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 94,622 | 2,512 | 5,525 | 102,660 | — | 41,233 | 143,893 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業開発の一環として前期にβリリースをした「encermall(エンサーモール)」を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. 減価償却費の調整額38,278千円は本社固定資産に関する減価償却費であり、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額41,233千円はオフィス増床等に伴って取得した固定資産の増加額であります。

【関連情報】

前事業年度(自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)

(単位:千円)

| | ネクストエンジン事業 | コンサルティング事業 | ロカルコ事業 | その他 | 調整額 | 合計 |
|------|------------|------------|--------|-----|-----|--------|
| 減損損失 | — | — | 44,752 | — | — | 44,752 |

(注)ロカルコ事業において、のれんの減損損失44,752千円を計上しております。

当事業年度(自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)

(単位:千円)

| | ネクストエンジン事業 | コンサルティング事業 | ロカルコ事業 | その他 | 調整額 | 合計 |
|-------|------------|------------|--------|-----|-----|-------|
| 当期償却額 | — | — | 4,512 | — | — | 4,512 |
| 当期末残高 | — | — | — | — | — | — |

当事業年度(自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前事業年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日) | 当事業年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日) |
|-----------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 109.92円 | 139.06円 |
| 1株当たり当期純利益 | 29.38円 | 31.03円 |
| 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | －円 | 30.55円 |

- (注) 1. 当社は、2025年11月4日に東京証券取引所グロース市場に上場しております。当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から当事業年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
2. 当社は、2025年11月4日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
3. 2025年9月1日付で普通株式1株につき4,000,250,25株の割合で、また2026年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
4. 当該株式分割が前事業年度の期初に行われたと仮定して算出した場合の1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前事業年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日) | 当事業年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日) |
|---|---|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 当期純利益(千円) | 940,109 | 1,008,426 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | － | － |
| 普通株式に係る当期純利益(千円) | 940,109 | 1,008,426 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 32,002,002 | 32,496,867 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 (算定上の基礎) | － | 30.55 |
| 当期純利益調整額(千円) | － | － |
| 普通株式増加数(株) | － | 507,465 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | 2023年3月1日 臨時株主総会決議 第1回新株予約権91,000個 (普通株式728,000株) 2024年6月21日 臨時株主総会決議 第2回新株予約権7,250個 (普通株式58,000株) | － |

5. 当該株式分割が前事業年度の期初に行われたと仮定して算出した場合の1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前事業年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日) | 当事業年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日) |
|--------------------------------|--|--|
| 純資産の部の合計額(千円) | 3,517,705 | 4,598,002 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(千円) | － | － |
| (うち新株予約権)(千円) | － | － |
| 普通株式に係る期末の純資産額(千円) | 3,517,705 | 4,598,002 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株) | 32,002,002 | 33,063,892 |

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は2026年2月20日の取締役会決議に基づき、2026年5月1日付けで株式の分割を行いました。

1. 株式の分割の目的

株式分割により、当社株式の投資単位当たりの金額（最低投資金額）を引き下げることで、投資家の皆さまがより投資しやすい環境を整え、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的として株式分割を行うものであります。

2. 株式分割の方法

2026年4月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたしました。

3. 株式分割により増加する株式数

| | |
|--------------|-------------|
| 分割前の発行済株式の総数 | 16,532,001株 |
| 分割により増加する株式数 | 16,532,001株 |
| 分割後の発行済株式の総数 | 33,064,002株 |
| 分割後の発行可能株式総数 | 64,004,004株 |

4. 分割の日程

| | |
|-------|------------|
| 基準公告日 | 2026年4月14日 |
| 基準日 | 2026年4月30日 |
| 効力発生日 | 2026年5月1日 |

5. 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、該当箇所に記載しております。

6. その他

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

7. 新株予約権行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、2026年5月1日の効力発生日以降、新株予約権の1株当たりの行使価額を以下のとおり調整しております。

| 新株予約権の内容 | 決議日 | 調整前行使価額 | 調整後行使価額 |
|----------|------------|---------|---------|
| 第1回新株予約権 | 2023年3月1日 | 223円 | 112円 |
| 第2回新株予約権 | 2024年6月21日 | 268円 | 134円 |

(事業譲渡)

当社は、2026年6月12日開催の取締役会において、ふるさと納税支援事業を事業譲渡することについて決議いたしました。

1. 事業譲渡の理由

当社は、ネクストエンジンによる業務効率化のノウハウと、ECコンサルティングのナレッジを活用し、地方自治体向けに、ふるさと納税運営支援を目的とした業務受託サービスを提供してまいりましたが、近年、当該事業への大手企業の新規参入も相次ぎ、それに伴って事業者間の競争が激しさを増しております。このような背景から、当社においても2025年4月期に契約自治体の解約が相次ぐなど、当該事業を安定的に運営するための顧客基盤の維持に課題を抱えておりました。

そのような中で、「挑戦する地域を創り続ける。」をMissionとして、ふるさと納税運営代行事業において、当社を凌ぐ顧客基盤と、運営ノウハウ及びリソースを有する譲渡先企業より、事業譲渡の打診を受けたことから、当社契約自治体に対して継続的に品質の高いサービス提供が可能であり、かつ寄附額の向上に資すると判断したため、同社への事業譲渡を決議したものであります。

2. 事業譲渡の概要

(1) 対象事業の内容

ふるさと納税支援事業

(2) 対象事業の経営成績

| | ふるさと納税支援事業 | 2026年4月期全社実績 | 比率 |
|------------|------------|--------------|------|
| 売上高(百万円) | 281 | 4,068 | 6.9% |
| 売上総利益(百万円) | 173 | 2,960 | 5.9% |

(3) 対象事業の資産、負債の項目及び金額

本事業譲渡における譲渡対象の資産は営業権であります。

(4) 譲渡価額及び対価(予定)

① 譲渡価額 220百万円(消費税抜き)

② 譲渡対価 現金

(注) 譲渡価額については今後締結される譲渡契約書記載の条件に基づき最終決定される予定であり、上記の金額から変動する可能性があります。

(5) 事業譲渡先の概要

| | |
|-------------|--|
| ① 名称 | 株式会社サイバーレコード |
| ② 所在地 | 熊本県熊本市中央区平成3丁目23-30 4F |
| ③ 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 増田 一哉 |
| ④ 事業内容 | EC運営代行、個人版ふるさと納税運営代行、企業版ふるさと納税運営代行、企業版ふるさと納税ポータルサイト運営、ふるさと納税ポータル構築支援 |
| ⑤ 資本金 | 50百万円 |
| ⑥ 設立年月日 | 2008年8月1日 |

(6) 日程

| | |
|--------------|---------------|
| ① 取締役会決議日 | 2026年6月12日 |
| ② 事業譲渡契約書締結日 | 2026年7月中旬(予定) |
| ③ 事業譲渡日 | 2026年8月1日(予定) |

3. 譲渡した事業が含まれていた報告セグメント

ロカルコ事業